



平成18年12月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年10月25日

会社名 東京リスマチック株式会社 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 7861 本社所在都道府県 東京都
 (URL <http://www.lithmatic.co.jp/>)
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 鈴木 隆一
 問い合わせ先 責任者役職名 管理本部長
 氏名 桃川 豊 TEL 03 (3891) 7455

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 税金費用の計算及び影響額が僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。
 (2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 (3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年12月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年1月1日～平成18年9月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年12月期第3四半期	9,535	(4.0)	866	(△5.4)	890	(△7.8)	468	(△13.8)
17年12月期第3四半期	9,167	(7.8)	915	(20.4)	965	(24.0)	543	(-)
(参考) 17年12月期	12,569		1,292		1,346		743	

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
18年12月期第3四半期	93	99	-	-
17年12月期第3四半期	109	33	109	08
(参考) 17年12月期	149	51	149	21

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

第3四半期におけるわが国経済は、原油高等の不安要素が減退し、好調な企業業績を背景に民間設備投資の増加基調が続きました。また、雇用情勢につきましても改善傾向が見られ、個人消費も緩やかな回復基調が続きました。印刷関連業界におきましては、広告費の増加により商業印刷市場は堅調に推移したものの、原油価格高騰に伴う原材料価格（紙類等）の上昇や競争激化による受注単価の下落により、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような経営環境のもとで、当社企業グループは新規顧客拡大とソリューション活動に重点を置き、お客様満足度を高める取り組みを強化した結果、当第3四半期の連結売上高は95億35百万円（前年同期比104.0%）と増収になりましたが、生産力向上を目的とした印刷関連設備への投資による減価償却費（前年同期比170.3%）並びに事業拡大を目的とした従業員の増強による給与手当（前年同期比104.4%）等の増加により、経常利益は8億90百万円（前年同期比92.2%）、四半期純利益は4億68百万円（前年同期比86.2%）と減益となり、収益につきましては厳しい状況で推移いたしました。

事業別の状況は次のとおりであります。

(サービス事業)

印刷物の需要減少、加えて受注競争の激化による受注単価の下落、出版市場の長期低迷等、印刷関連事業は厳しい事業環境でしたが、デジタル処理技術を駆使して、お客様の問題解決に貢献するソリューション活動に活力し、さらに品質体制をより一層強化し、高品質の製品をお客様に提供することに努めた結果、当事業の売上高は70億31百万円（前年同期比102.9%）となりました。

(印刷事業)

生産工程の効率化、内製化等の向上、競争力強化を目的として生産体制の見直しを行い最適な生産体制の構築に努めた結果、当事業の売上高は24億24百万円（前年同期比107.1%）となりました。

(不動産賃貸事業)

賃貸物件（東京都荒川区町屋）に借入人が新たに入居したことにより、当事業の売上高は79百万円（前年同期比114.7%）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
18年12月期第3四半期	14,309	8,617	60.2	1,725 30
17年12月期第3四半期	13,196	8,127	61.6	1,653 31
(参考) 17年12月期	13,862	8,335	60.1	1,677 07

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

第3四半期における総資産は前連結会計年度末に比べて4億46百万円増加し、143億9百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の「機械装置及び車両運搬具」が2億84百万円及び「現金及び預金」が1億37百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて1億64百万円増加し、56億91百万円となりました。主な要因は「借入金」が3億87百万円、「賞与引当金」が1億32百万円、「未払配当金」が90百万円及び「未払消費税」が40百万円増加し、「未払金」が2億64百万円及び「未払法人税等」が2億31百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて2億82百万円増加し、86億17百万円となりました。主な要因は「利益剰余金」が2億69百万円増加したことによるものであります。

[参 考]

3. 平成18年12月期の連結業績予想（平成18年1月1日～平成18年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	12,900	1,300	700

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）70円07銭

*1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 1株当たり予想当期純利益（通期）は、分割後（1株→2株）の期末発行済株式数9,990,000株で算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点では、今後通期で予想できる業績への大きな影響要因が特にないことから、業績予想につきましては、平成18年2月20日の決算発表時の業績予想からの変更はありません。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表

(要約) 四半期連結損益計算書

以 上

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年12月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年12月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 平成17年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I. 流動資産					
1. 現金及び預金	1,149,098	980,538	168,559		1,011,848
2. 受取手形及び売掛金	2,847,844	2,690,811	157,033		2,876,895
3. たな卸資産	145,757	228,096	△82,338		189,191
4. 繰延税金資産	68,809	70,981	△2,171		68,819
5. その他	199,396	572,008	△372,611		236,169
6. 貸倒引当金	△66,786	△91,978	25,192		△73,055
流動資産合計	4,344,120	4,450,457	△106,337	△2.4	4,309,868
II. 固定資産					
(1) 有形固定資産					
1. 建物及び構築物	1,524,773	1,572,510	△47,736		1,568,435
2. 機械装置及び 車両運搬具	3,109,457	1,946,586	1,162,871		2,825,368
3. 土地	3,617,000	3,540,142	76,858		3,540,142
4. その他	132,655	131,913	741		128,466
有形固定資産合計	8,383,887	7,191,152	1,192,734	16.6	8,062,412
(2) 無形固定資産	219,523	224,903	△5,379	△2.4	214,700
(3) 投資その他の資産					
1. 投資有価証券	258,956	231,039	27,917		237,129
2. 繰延税金資産	79,690	110,749	△31,058		75,138
3. 敷金・保証金	779,725	789,530	△9,805		782,600
4. その他	276,662	256,664	19,997		214,338
5. 貸倒引当金	△32,975	△57,964	24,988		△33,515
投資その他の資産合計	1,362,059	1,330,020	32,039	2.4	1,275,691
固定資産合計	9,965,470	8,746,075	1,219,394	13.9	9,552,804
資 産 合 計	14,309,590	13,196,533	1,113,057	8.4	13,862,673

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成 18 年 12 月期 第 3 四半期末)	前年同四半期 (平成 17 年 12 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参 考) 平成 17 年 12 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負 債 の 部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	286,704	269,735	16,969		260,609
2. 短期借入金	3,210,000	2,310,000	900,000		2,685,000
3. 1年以内返済予定長期 借入金	132,456	208,056	△75,600		170,376
4. 賞与引当金	175,393	161,098	14,294		43,000
5. その他	1,061,330	1,175,354	△114,024		1,436,856
流動負債合計	4,865,883	4,124,244	741,638	18.0	4,595,842
II 固定負債					
1. 長期借入金	690,144	822,600	△132,456		789,486
2. 役員退職慰労引当金	79,080	71,860	7,220		71,890
3. その他	56,587	50,314	6,273		70,420
固定負債合計	825,811	944,774	△118,962	△12.6	931,796
負債合計	5,691,695	5,069,018	622,676	12.3	5,527,638
(資 本 の 部)					
I 資本金	—	1,257,100	—	—	1,257,100
II 資本剰余金	—	1,315,700	—	—	1,315,700
III 利益剰余金	—	5,546,890	—	—	5,746,605
IV その他有価証券評価 差額金	—	7,823	—	—	15,629
資本合計	—	8,127,514	—	—	8,335,034
負債・資本合計	—	13,196,533	—	—	13,862,673
(純 資 産 の 部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,279,600	—	—	—	—
2. 資本剰余金	1,315,700	—	—	—	—
3. 利益剰余金	6,015,858	—	—	—	—
株主資本合計	8,611,158	—	—	—	—
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	6,735	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	6,735	—	—	—	—
純資産合計	8,617,894	—	—	—	—
負債・純資産合計	14,309,590	—	—	—	—

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年12月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 平成17年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	9,535,631	9,167,978	367,653	4.0	12,569,415
II 売上原価	6,764,626	6,434,180	330,445	5.1	8,791,544
売上総利益	2,771,005	2,733,797	37,208	1.4	3,777,871
III 販売費及び一般管理費	1,904,532	1,817,986	86,545	4.8	2,485,512
営業利益	866,473	915,811	△49,337	△5.4	1,292,358
IV 営業外収益	85,020	73,694	11,325	15.4	120,942
V 営業外費用	61,225	23,734	37,490	158.0	66,754
経常利益	890,268	965,771	△75,502	△7.8	1,346,546
VI 特別利益	18,557	22,318	△3,761	△16.9	26,865
1. 固定資産売却益	18,557	—	18,557		4,546
2. その他	—	22,318	△22,318		22,318
VII 特別損失	77,694	55,771	21,923	39.3	145,658
1. 固定資産売却損	1,722	1,231	491		19,380
2. 固定資産除却損	31,871	4,640	27,230		17,354
3. リース解約金	44,100	—	44,100		23,016
4. その他	—	49,899	△49,899		85,907
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	831,130	932,318	△101,187	△10.9	1,227,753
税金費用	362,577	388,965	△26,388	△6.8	484,686
四半期(当期) 純利益	468,553	543,352	△74,798	△13.8	743,066